

今年こそ強い会社になろう

経営革新の手段として情報技術（IT）の利用価値は高い。IT投資促進税制を始め、IT化への支援策も豊富だ。本特集では各種支援策の活用を考察しながらIT化への道を探る。

うちの会社、大丈夫？

マンガ 朝倉千夏



では、失敗しない情報化の進め方、国の支援策について、具体的に探っていこう！

デフレが進行するなか、企業を巡る経済環境は厳しい。これまでコストと努力し会社を大きくしてきた企業でも、その延長で利益を拡大することは難しくなってきた。新しい製品の開発、新しい営業手法、新しい仕組みの創造……。思いきって経営を刷新し、厳しい環境を乗り越える体力を作りたいものだ。

そこで頼りになるのは情報通信技術、つまりITの力である。ITを上手に活用することで経営革新は大きく実現に近づくはずだ。

しかし、中小の事業所がITを導入する際には二つの障壁がある。一つは知識、もう一つは資金である。

進歩が著しい情報技術を、経営者がすべて理解するのは不可能だ。自分一人ですべてを判断しようとせず、信頼できるアドバイザーを見つけたものだ。

資金面では、経営革新やIT利用に関する公的な援助も豊富だ。今年からはIT投資促進税制が実施され、税面での優遇措置もとられている。

本特集では、この二面から経営革新とIT化の問題を捉え、失敗しない情報化のステップを考察していく。